

VISIONARY

JOURNAL

3

doctor's voice (Ⅲ) | 内科・消化器内科 | 眼科・小児眼科 | 内科・血液内科

1

三上 貴生

みかみクリニック
滋賀・大津市

2

御子柴 雄司・史子

みこしば眼科クリニック
愛知・名古屋市

3

吉田 均

ヨシダファミリーメディカルクリニック
愛知・名古屋市

地
域
に
ひ
ら
く



VISIONを持つ、 ということ。

より良い未来を描き、自分自身で創っていく。

医師の夢や使命、患者さんとの向き合い方、地域社会への貢献、

家族と生活、恩師や仲間との関係、健康、資産、価値観、

これからどのような人たちに会い、どのように時間を使うのか…。

人生のさまざまな構成要素から成る理想の人物像に向かって生きる、

「VISIONARY」= 明確な将来の展望・構想を持つ人。

「V・drug」で開業を決めたドクターたちの本物の声、視線の先が、

新しい一歩のきっかけやヒントになるかもしれない。

CASE STUDY

1

内科・消化器内科 × V・drug

みかみクリニック

三上 貴生 先生

Profile

奈良県立医科大学医学部卒業。京都大学医学部附属病院、日本赤十字社和歌山医療センターで研修後、大津赤十字病院にて主に一般内科疾患、消化器疾患、肝疾患、内視鏡検査・治療を中心に幅広く診療を行い、開業。

まちとともに歩み、成長していく

町医者になる将来像がドクター人生の起点。

医師を志した時から、頭の中にあっただのは「地域のお医者さん」です。もともとお医者さんと言えば、「近所のクリニックのお医者さん」という感覚でした。自分自身が受診した際に優しく何でも相談できて、お腹を触ってもらったり音を聴いてもらったのが、なんとなく温かい記憶として残っています。後に医師を目指すきっかけにもなり、今まで勤務医として研鑽を積みましたが、最終的には「クリニックを開業したい」と思っていました。あとは医者になつてからわかったことですが、臓器別にいろいろな専門がある中でも消化器内科はたくさん臓器をカバーしています。首から下、足腰より上は全部なので、トータルで診る町医者の理想像と一番マッチし、消化器内科を選びました。今まで大きな病院でやってきた、専門でもある内視鏡を軸に、総合内科専門医・消化器病専門医として内科・消化器疾患全般も診療できる両輪でやっていきたいです。



滋賀・大津市 夢の始まり

第二の故郷・大津で、これからの支える一員に。

医者になつて16年ほどのうち大津で10年働き、キャリアの大半を滋賀で育ててもらいました。琵琶湖があつて自然も豊かで、京都や大阪などの都会にも近く、個人的にも住みやすいところだと愛着があります。これからも大津・琵琶湖を離れたくない。これからの大津・琵琶湖を離れたくない。これまで働いていた地域で開業すること、大きな病院へ患者さんを紹介しないといけない時に自分の勤めていた病院も頼りにできることもあり、この場所での開業に決めました。瀬田地域は人口が増えていて、内視鏡や消化器内科を強みにするクリニックは多くありません。今までやってきたことを軸に貢献できればと思っていますが、どんなことでも相談しやすいかかりつけ医になりたいですね。専門領域でなく完結できない時は他のクリニックや病院を紹介するなど、道しるべの役割も担えたい。いいな。

周囲の理解と協力を得て、新しいステージに向かう。

1年前に開業した元同僚から、「前よりも自分の理想に近いスタイルで働けて、患者さんとより身近な関係を築けるよ」という実際の声を聞いて、自分も動き出そうと開業に踏み切りました。その元同僚から紹介してもらった開業支援の担当者さんと二人三脚で準備を進めています。僕の意図を汲み取った業者さんの提案や具体的な指針を与えてくれる羅針盤のような存在で、とても感謝しています。家族も応援してくれ



ていて、子どもは小さくてまだまだ手がかかる時期ではあるんですけど、僕が「や」と言ったら、妻は「わかった」と。本当にありがたいですね。休みの日は子どもを公園へ連れて行ったり、京都水族館や動物園、植物園などに家族で出かけて、癒されています。

「V・drug」併設クリニック 関西第一号となる開業。

地域の方々がドラッグストアを日常的に使われているので、ドラッグストアの近くに建てたいというのは当初から思っていたことです。いくつか候補として他社もある中で「V・drug 大将軍店」を選んだ理由は、立地的に角地で地域の患者さんが行きやすいだろうとお声を掛けさせていただきました。「V・drug」の開業支援は、建築から地主さんの交渉などもトータルでサポートしてくれるとホームページで見まして、ここにお願したら心強くなったんですね。「V・drug 大将軍店」は2016年にオープンし、長く営業している既存店です。その敷地内に建てられませんかというかなり無理なお願いでしたが、柔軟に考えて受け入れていただき、ホームページどおりの開業支援への熱意と、関西初の取り組みに大きな期待がかかっているのを感じました。地主さんや不動産屋さんとの交渉では、僕が困らないように金銭的にもいろいろギリギリのところをやってくださるバックアップがすごくありがたかったです。「V・drug」は母体の「中部薬品」が大きな会社組織なので、お薬の調剤は安心ですし、電子処方箋やこれからの動きにもばつと対応してくれると思つています。処方箋や検査の待ち時間にドラッグス

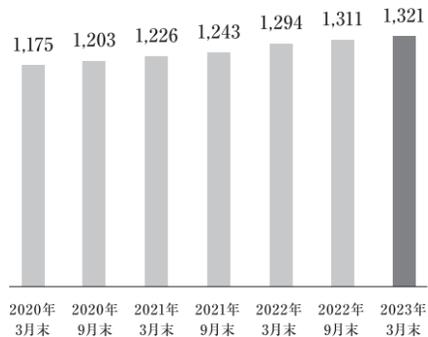
患者さんの負担を軽減し、内視鏡検査をより身近に。

僕は内視鏡を専門としており、コロナ禍における受診控えて、がんの発見が遅れて進行した状態で見つかるといったことが増加しているのを如実に感じました。「検査した方がいいのはわかるけど、大きい病院に行くのはちょっと抵抗があるし、時間的な余裕がない」という人がたくさんいるので、気軽にかかれるクリニックがやっぱり必要なんじゃないか。もつと言えば、そのクリニックで大きな病院と同じクオリティの高い内視鏡検査ができれば地域貢献になるんじゃないかと思つています。内視鏡、わかりやすく言うと胃カメラや大腸カメラですが、皆さんにとつて敷居が高く、できることなら受けたくない検査ですよね。苦痛や不安を感じる声をよく聞くので、何とかして皆さんのイメージを変えられることがきたらな。これまでに培った専門医の知識や経験を生かして、「眠っている間に受けられる楽な内視鏡検査」を麻酔（鎮静剤）やお腹が張りにくいガス、最新の機器を使つて行います。検査の流れは、点滴からお薬を入れたら程なくして入眠します。胃カメラなら10分、大腸カメラなら20〜30分の検査をして、眠った状

健康で心豊かに暮らせる地域のために

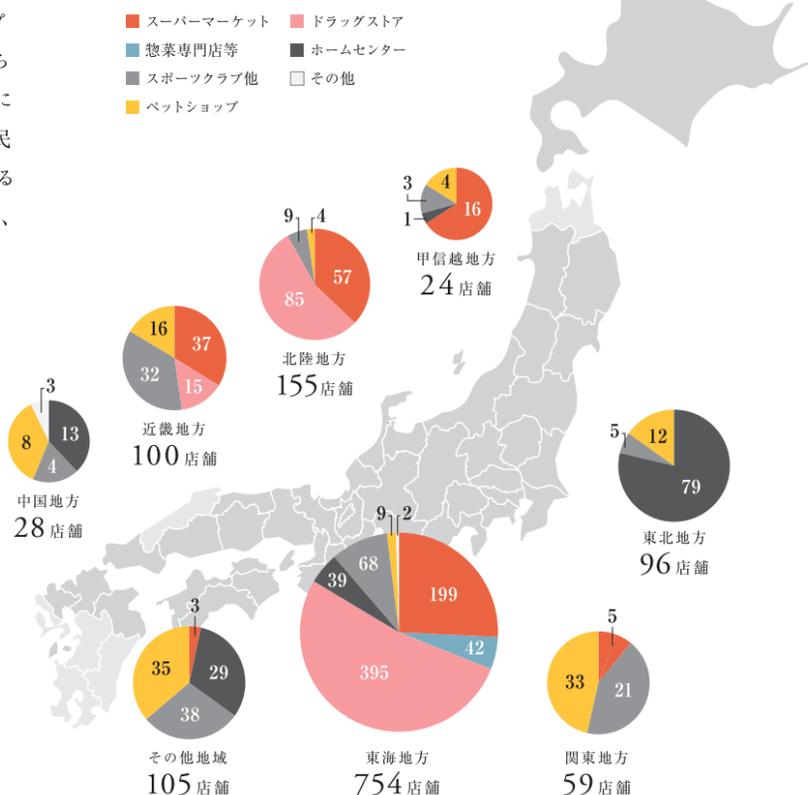
スーパーマーケット「パロー」を中核に、ホームセンター「パロー」、スポーツクラブ「アクトス」、調剤薬局併設のドラッグストア「V・drug」などを展開するパローグループ全体の経営資源を活用。地域とのつながりを強化しながら日常生活圏に医療がとけ込むことで、医療がもっと身近になり、早期治療や治療促進も期待できます。「住民の方々の生活と健康を守る」というビジョンが一致するドクターとともに、開業までも、その先も。未来へ続く、地域の医療に取り組んでいます。

店舗数推移



店舗マップ

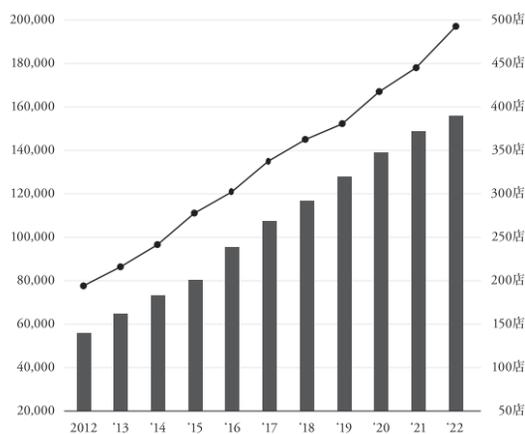
※2023年4月末現在



V・drug 営業収益(売上高)と店舗数の推移

※2023年3月末現在

495店 155,624(百万円)



■ 営業収益(百万円) ● 店舗数

V・drug 県別の店舗数

※2023年3月末現在

愛知 195店 V・drug 178 併設薬局 (24) 調剤専門薬局 17	岐阜 158店 V・drug 114 併設薬局 (28) 調剤専門薬局 44	富山 45店 V・drug 35 併設薬局 (5) 調剤専門薬局 10
静岡 25店 V・drug 19 併設薬局 (2) 調剤専門薬局 6	福井 22店 V・drug 18 併設薬局 (1) 調剤専門薬局 4	石川 18店 V・drug 17 併設薬局 (4) 調剤専門薬局 1
三重 17店 V・drug 16 併設薬局 (2) 調剤専門薬局 1	京都 6店 V・drug 5 併設薬局 (1) 調剤専門薬局 1	滋賀 5店 V・drug 3 併設薬局 (0) 調剤専門薬局 2
	大阪 4店 調剤専門薬局 4	

全国店舗数 **495** 店舗

V・drug 405店舗 併設薬局 (67)
調剤専門薬局 90店舗



「大津赤十字病院」で重症患者さんの治療をやってきた僕がクリニックで力を入れたいのは、重症になる前に何か手を打てないか、リスクになるものを検査で見つけてしっかり管理できないか。内視鏡もそうですが、大病になる前の段階で見つけられればなと。また、総合内科医なので、どんな症状でも遠慮なく相談したいです。一緒に寄り添いながら解決していきたいです。最近ちよつとお腹の調子が悪い、胃がもたれる、食欲が減った、便秘がひどい、下痢といった様々な症状でお悩みの方や、健康診断で引っかかった方にも来ていただいで、「三上先生のところに来たら良くなったわ」なんか安心したし、ホッとしたな」と言われるのが理想ですね。

日頃の診療では患者さんそれぞれのニーズも大事にしたいです。それをうまく汲み取り、丁寧な思いやりを込めて、心の通う温かな医療。

病気になる一歩手前の未病を捉えるクリニックの使命。

「大津赤十字病院」で重症患者さんの治療をやってきた僕がクリニックで力を入れたいのは、重症になる前に何か手を打てないか、リスクになるものを検査で見つけてしっかり管理できないか。内視鏡もそうですが、大病になる前の段階で見つけられればなと。また、総合内科医なので、どんな症状でも遠慮なく相談したいです。一緒に寄り添いながら解決していきたいです。最近ちよつとお腹の調子が悪い、胃がもたれる、食欲が減った、便秘がひどい、下痢といった様々な症状でお悩みの方や、健康診断で引っかかった方にも来ていただいで、「三上先生のところに来たら良くなったわ」なんか安心したし、ホッとしたな」と言われるのが理想ですね。

内科・消化器内科

みかみクリニック

開業日 2023年7月3日

Addr. 滋賀県大津市大將軍1-2-14
JR琵琶湖線「瀬田駅」車10分

Tel. 077-526-7190

Web. mikami-naishiky.com

ながら、何をやるにしても「一方通行ではなく、お互いにわかり合った状況になるようにしっかりと説明し、患者さんが納得して検査や治療に参加できるクリニックでありたい」と考えています。診察は数分ですが、まずは目を見て話し、お話を聞くという基本を大切に。クリニックは病気を治したり治したりするだけが役目ではないと思っています。対話するだけでも安心を提供できたりします。スタッフのコミュニケーションも含めてみんなで温かい雰囲気を作つて、ここに来たら気持ちがほつこりして帰れるようにしたいですね。また受診しようかなと思っただけの地域に開かれたクリニックにしたいと思いません。診察は数分ですが、まずは目を見て話し、お話を聞くという基本を大切に。クリニックは病気を治したり治したりするだけが役目ではないと思っています。対話するだけでも安心を提供できたりします。スタッフのコミュニケーションも含めてみんなで温かい雰囲気を作つて、ここに来たら気持ちがほつこりして帰れるようにしたいですね。また受診しようかなと思っただけの地域に開かれたクリニックにしたいと思いません。

専門医二人体制で 患者さんの負担を少なく



愛知・名古屋市

生かし合う

CASE STUDY

2

眼科・小児眼科 × V・drug

みこしば眼科クリニック

御子柴 雄司・史子 先生

Profile

院長 御子柴雄司
金沢大学医学部医学科卒業後、名古屋大学医学部附属病院・静岡済生会総合病院にて眼科医員。名古屋大学大学院医学系研究科博士課程を修了後、中部ろうさい病院眼科医長を務め、開業。

副院長 御子柴史子
三重大学医学部医学科卒業後、名古屋第一赤十字病院(現日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院)眼科専攻医、名古屋大学医学部附属病院・安城更生病院眼科医員、名古屋掖済会病院眼科医長を務め、開業。

夫婦ともに縁の深い
地域に恩返しを。

雄司 開業地を選んだ理由は、妻がこの辺りの出身だったことですね。僕は長野出身なのですが、名古屋での勤務が長く、愛着が湧いていたことも大きいです。

史子 「せっかくなら地元で」という意識がありましたし、育った場所だからこそ身を引き締めて、しっかりとした仕事をしなければという自戒も込めています。

雄司 将来的には開業を考えていました。今、我が家には10歳・7歳・4歳と3人の子どもたちがいることもあって、小児の治療にもっと携わりたかったですし、自分のやりたいことをもっと自由に実現したかったです。

史子 やはり総合病院だと保険内診療がメインになるので、例えば小児の近視抑制といった自費診療をやりたいと思うと、開業の選択肢に。私は元々、長く医師を続け

たくて眼科医を選んだので、開業した方がより長く続けられそうだなという気持ちもありました。

高い認知度と利便性は
テナント型の強み。

雄司 2階にクリニックがあり、最初はお年寄りなどにはご負担かなと思っていたんですが、エレベーターも使えますし、エントランスや通路が広く設計されているので、特に心配することでもなかったです。

史子 院内の通路幅もゆったりとしていて、車いすの方でも安心。何より、駐車場に入りやすく助かっています。

雄司 「V・drug」下之「色店」の出店に合わせて開業し、初期投資を抑えられてありがたかったです。眼科はとにかく機材費が高いですし、検査機器も複数台必要なので、クリニックづくりでこだわった点は、親しみ

やすさと明るさですね。テナントと言っても建物の着工時からの提案だったので、自由度が高く、こちらの意向を細かく聞いてもらえたのがうれしいです。なるべく患者さんが緊張しないよう、手術室を広い間取りにできたのも気に入っています。

史子 大きな看板は国道からも良い目印ですし、うちのキャラクターが大きく描かれています。患者さんからもかわいいと好評です。

雄司 開院時はちょうどコロナ禍だったので、患者さんが来てくれるか心配だったんですが、新しくできたドラッグストアの真上というところで徐々に患者さんも増えて、事業を無理なく軌道に乗せられました。

史子 処置や検査の際、投薬をしてから患者さんにお待ちいただくことがあるので、そういった時は「V・drug」で買い物しながら時間をつぶしてもらえます。調剤薬局との物理的な距離も近く、細やかに声をかけてくださるなど、連携がスムーズに取れていますね。

絆を強め、長く親しまれる
クリニックを目指して。

雄司 クリニックの強みはやはり専門医が二人いることで、患者さん一人ひとりの話をじっくりと聞きつつも、お待たせする時間が長くないという点。あとは日帰りの手術まで受けていただけることですね。ここですべて完結できた方が患者さんも楽ですから。

史子 小児関係は私で、夫は外科的な治療が中心。完全に分けているというわけではないですが、お互いの得意分野があるの

で、補充し合って診療をしています。

雄司 これから開業を考えているドクターにアドバイスできるほどの立場でもないですが、やはり準備の時間は長く取った方が良いです。土地や建物、駐車場などの契約関係はすべて「V・drug」におまかせできるので、その負担はなかったものの、僕の場合は準備期間が実質1カ月半しかなくて。今となつては良い思い出ですけど、当時はすべてが同時進行で毎日大変でした。

史子 始めてみないとわからないことも多く、先輩開業医にもっとしっかり話を聞いておけば良かったと思うことも結構ありますね。

雄司 スタッフも10人いれば10人の思いがあるんで、定期的に個別で面談を行い、働きやすい環境を作れるよう努力しています。患者さんにとってもスタッフにとっても居心地のいいクリニックにしていきたいですね。

眼科・小児眼科

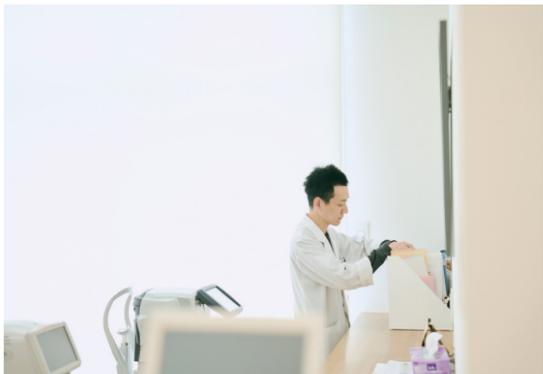
みこしば眼科クリニック

開業日 2021年12月1日

Addr. 愛知県名古屋市市中川区下之一色町宮分149-1 2F
名古屋市バス「一色大橋停」徒歩2分

Tel. 052-888-8700

Web. mikoshiba-ganka.jp





お子様からご高齢の方まで
安心して暮らせるように

愛知・名古屋市 実りある医業承継

CASE STUDY
3
内科・血液内科 × V・drug
ヨシダファミリー
メディカルクリニック
吉田 均 先生

Profile
名古屋大学医学部・大学院医学系研究科博士課程卒業。名古屋掖済会病院で研修後、浜松医科大学助手、岐阜県国際バイオ研究所研究員、国立がん研究センター 研究所分子腫瘍学部長、上矢作病院内科医員、JCHO可見とうの病院血液内科診療部長を経て、開業。

経験の中で自然につながった
豊富な知識と地域医療への道。

僕は元々、開業することはあまり考えていなかったんです。岐阜と東京の研究所から地域医療を担う中核病院を経て、専門外の疾患を含む臨床経験が開業への自信ときっかけに。「可見とうの病院」では不定愁訴やがんの患者さんも多かったのですが、他院の心療内科や緩和ケア科にも通って勉強しました。専門の血液内科は白血病を中心に、抗がん剤治療に伴う全身の臓器の不具合などもほとんどは自分たちで診るんです。その時々で必要に迫られて学んできたことが積み重なって、いつの間にか開業に役立つスキルも身につきました。

開業を後押しした
「V・drug」への信頼関係。

自宅から近いエリアで物件を探し始めていた中、たまたま「V・drug 光が丘店」

の真横に空き物件があり、本部に問い合わせをしたのが始まりです。決定までに至りませんでした。担当者の人柄を信頼し、引き続き物件を探してもらったこと。名古屋市千種区はそもそも空いている土地が少なすぎて、めばしい物件があっても駐車場がなかったり、なかなか思うようにいかないと、今回の承継の話をお願いしました。30年間ここで幅広い診療を行われてきた前院長の山本先生は「内科全般を診られる人」という希望で、僕の方も立地や地名、周辺の雰囲気が入ったので、そこからはトントン拍子。すんなりと受け入れられたのは、担当者さんへの強い信頼感があったからでもありますね。

患者を引き継ぐという
承継ならではの重み。

承継の本契約をしたのが2022年1月末で、開院が同年の4月。院内もスタッフもすべてそのまま、看板と医師だけ

で、超音波（エコー）検査やホルター心電図といった機材を過不足なく整えることができました。女性用とバリアフリーの2つのトイレも要望に応じています。

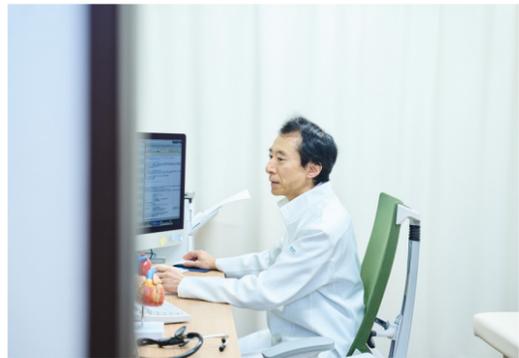
地域の人々を支える
完結型の一次医療を。

内科・糖尿病内科・脂質代謝内科・漢方内科・血液内科・緩和ケア内科・小児科を標榜し、総合内科として疾患を問わず全部診る。その上で必要があれば紹介する、というスタンスです。別の病院で予約を取って検査に行き、結果を聞いて、となると患者さんの負担が大きいです。待つ時間もすごくストレスですよ。そういう状態に病状が悪化してしまう恐れもありますから、できる限り

の医療設備をきちんと揃えました。心臓の大きさや血液検査の結果に違和感を持つて提携先の病院に送ると、手術が必要な疾患が見つかったり、些細なことを見逃さないよう毎日緊張の連続ですが、大きい病院で専門だけを診るのではなく、日常の最前線にいて命を救えることにやりがいを感じます。安心してまかせられるスタッフや「V・drug 天満堂薬局」の存在も頼もしいです。多少マニアックな漢方でも在庫があるのは大手であればこそ、ですね。特別大それた目標などはありませんが、地域の方に「とりあえず行けば何とかしてくれる」と思ってもらえるように、今まで培ってきた学が姿勢で、柔軟な対応と診療の幅を広げる努力も続けていきます。



が変わっている状態で完全にアウェイでした。既存の患者さんは長年通われている方が多いですから、データを読み込んで予習・復習するだけでも時間がかかりますし、契約の名義変更や料金の支払いなど、診療以外の細かい仕事も山積み。最初は本当に大変でしたが、元々患者さんの数があることは承継ならではの利点ですし、前の先生が「今度来る先生、良い人だよ」と患者さんたちにおっしゃってくれていたおかげで、ありがたいことにあまり抵抗なく受け入れてもらえたと思います。そして、10月に改装工事をスタート。診療を止めずに2階から取り掛かり、一旦クリニックを2階に移して1階に着手、翌年1月にリニューアルオープンしました。開院して間もない改装はレアケースですが、実際の診療で患者さんのニーズが把握できたの



内科・血液内科
ヨシダファミリーメディカルクリニック
開業日 2022年4月1日
Add. 名古屋市千種区天満通1-41-1 青山ビル1F
地下鉄名城線「茶屋ヶ坂駅」徒歩8分
Tel. 052-723-5511
Web. suizenkai-yfmc.com



DOCTOR FRIENDLY

「V・drug」はドクターの立場に立って開業支援をしています。
より良い未来を共創し、たくさんの「ありがとう」をいただきませんか？



医療開発部のメンバー。写真左から、鷹見繁宏、三浦孝裕、中陳歴展、中村哲、名川元貴、廣田雄亮、早淵凌平。



クリニック開業支援にかける「V・drug」の思い。

開業は「二世」代の大仕事です。二人の人間として開業の二歩を踏み出すことは大変な勇気がいります。だからこそ、納得いくものを実現していただきたい。「中部薬品」は個人と比べると企業規模が大きいので、バックアップできることはお手伝いしたいです。やはりドクターがいて、薬局があって、そこが連携して初めて人が集まり、お客様も増え、ひいては地域貢献につながっていくので、まずは開業されるドクターの思いを叶えることが重要です。私たちのクリニック誘致は走りながら経験値を積み上げていく、リスクを取ってでもやるという姿勢があります。数字やロジックはすごく大事なんですけど、人の心に真摯に向き合う良い意味での人間臭さも

必要です。医療開発部は「中部薬品」に属していますけれども、会社の収益を最優先というより、「番求められていることはドクターと薬局の間のつなぎ役として、ドクターが長く地域に貢献できる状態をどのように作っていくかを柔軟に考え、実行していくこと。それが結果として、薬局にも好影響をもたらします。また、ドクターが医療を通して地域に貢献する一言で言っても、お一人おひとりによって開業希望地も治療方針も理想のスタイルも異なり、成功する道もたくさんあるわけです。開業支援担当者はそれぞれのビジョンに合わせたオリジナルの形を描き、多岐にわたるサービスやお悩みの解決策の提案に努めます。

医療機関と薬局がうまくいくベストパートナー。

ドクターの治療方針を理解した上で、患者様に安全にお薬を使ってもらえるように情報提供するのが薬剤師の仕事です。私たちが薬剤師のスタッフに望むのは、ドクターときちんと情報共有して治療を支えること。かたく言えば、薬の知識や治療方針となりますが、困ったときにすぐ意見を言い合える、より良い人間関係が築ける薬剤師であってほしいと思います。医療分業が広まり、医師と薬剤師の専門分野で業務分担が行われてきたわけですが、これも、個人的な感覚では、この分業のイメージが強くなりすぎているように思います。時代の流れの中で情報社会のデジタル化が進み、データが共有されるようになってきました。これからは、一緒にだけ助け合って知識を出し、お互いのあるところ・ないところを補い合っていくかが重要

V・drug people

INTERVIEW

中部薬品 医療本部
医療開発部 部長
中村 哲

長く地域に貢献できる関係づくり
医薬分業から医薬協業へ

医療中心のドラッグストアを「V・drug」の特色として。

ドラッグストアの店舗数を伸ばしていく中で、クリニック誘致も年々増えてきました。最近では、「V・drug」で開業された先生から開業をご検討中の新しい先生をご紹介いただくようになり、医療機関と二階に、ドクターと二階に取り組みでいくという「中部薬品」の企業姿勢が着実に二歩一歩進んでいることを感じます。常日頃この姿勢を大切に、店舗スタッフや医療開発部のみんなが育む「ドクターとの人間関係」が次につながり、これからもっともっと広がっていくだろうと。クリニックがあることで地域への貢献度は飛躍的に高まり、地域の人たちの笑顔を増やすためにもクリニック併設の店舗をどんどん増やしていければと考えています。スーパーマーケット、コンビニエンスストアが飽和している時代

にあつて、おそらくドラッグストアもいつか同じ状況になり、何かしら新しい業態、形自体を変えていかなければ生き残れないでしょう。その中で私たちが目指すのは、皆様の生活により必要とされる、医療モール型のドラッグストアです。コロナ禍でも小売だけのドラッグストアと比べて、クリニック併設の店舗はドクターと情報交流を行い、患者様・お客様の安心感と信頼感が明らかに違くと数値上でもわかりました。地域貢献のために医療は外せないですし、人口が減り、高齢者が増えてくる中でも十二分に期待に応えられるので、「V・drug」の特色となる医療中心の形を先生方の力を借りながら作っていきたくと思っています。ドラッグストアでは、医療という面を意識して見られているプレッシャーを感じながら、お客様にもドクターにも満足していただけるサービスを提供していきたいです。

で、分業というより、協業が求められるようになってきている気がします。

ずっと健康、もつといい未来
新しい時代に向けた取り組み。

患者様からオンラインで処方箋を受け付けるサービスは実装済み、医療機関から電子処方箋を受け付けるサービスは揃っています。電子処方箋はまだ本格化していませんが、国主導で行われるものはすべて積極的に協力していくことが薬局の許可が下りたところの使命。弊社を含めてですけれども、ある程度の規模の企

業が最先端で引張っていかなければいけません。国の取り組みとは別で今後の課題になるのが、おそらく「ラストワンマイル」と呼ばれる処方薬の配送・受け渡しサービスです。全エリアではありませんが、岐阜、多治見、高山、春日井、豊田では、その日に受け付けた処方箋に関しては、すべてその日にお客様の元へお届けしています。そのエリアにネットワークがあるから実現できる、地元ならではの強みですね。デジタル技術だけがすべてじゃないですし、力技や人海戦術も合わせてやっていく将来を見据えた動き方で、しっかりと実績を作っていきます。

「ドクター」「お客様、患者様」「V・drug」の

すべてが幸せになる

「三方よし」の考え方を大切にしています



Q & A よくあるご質問

Q1.

コンサルティング費用はどのくらいかかりますか？

—— コンサルティング費用は一切いただいておりません。弊社は、開業費用がミニマムとなる開業支援を目指しております。

Q2.

設計事務所や建築会社を紹介して欲しいです。

—— 開業に関係する業者であれば、基本的には全方位のご紹介が可能です。金融機関（銀行、信用金庫、リース会社など）、設計事務所、会計事務所、医療機器メーカーなど多岐にわたります。

Q3.

契約年数の要望を聞いてもらえますか？

—— 基本的には先生のご要望に合わせた年数の物件を提供する方針です。※ただし、物件および地主様の状況によってはご希望に添えない場合がございます。

Q4.

中途解約した場合、違約金は発生しますか？

—— 契約書内に定めたとおりとなります。一般的には、原状回復義務の執行および敷金返還請求権がなくなるといったケースが多いです。

Q5.

調剤専門薬局の形で出店してもらえますか？

—— 弊社はドラッグストアを主事業としながらも、調剤専門薬局の出店も行います。どのようなケースでも検討させていただきます。※立地や賃料などの諸条件によってはご希望に添えない場合がございます。一度ご相談ください。

Q6.

建築条件はありますか？

—— 弊社の管轄する物件（既存店舗）には、基本的に条件はございません。※建築会社様の提供する物件など、場合によっては設定されている場合がございます。

Q7.

開業後も支援してもらえますか？

—— 弊社の既存取引ネットワークを利用した往診施設のご紹介や、市民公開講座の実施に際してのご協力などが可能です。

Q8.

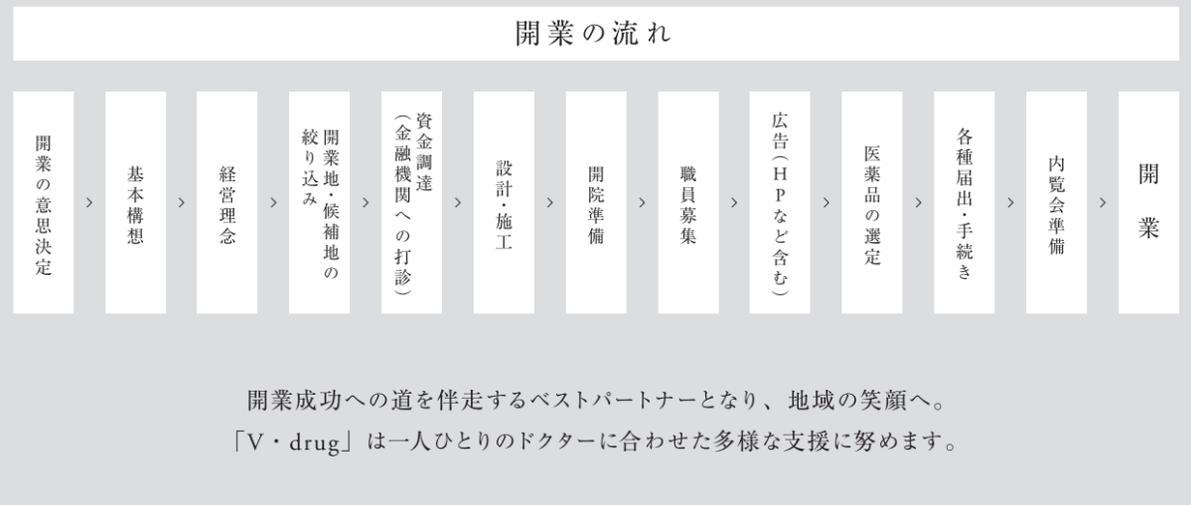
「V・drug」の開業支援件数は年間どれくらいになりますか？

—— 第39期（2021年4月始）では7件、第40期（2022年4月始）では9件です。第41期（2023年4月始）では10件を予定しております。

お問い合わせフォーム



ご不明な点やその他のご相談は、お気軽にお問い合わせください。お問い合わせフォームからのご連絡は24時間受け付け、順次お返事いたします。



CLINIC GALLERY

AICHI 尾張旭市



内科・消化器内科

尾張旭にのみ
内科消化器内科クリニック

複数の地主さんとの面談調整や契約書作成なども、「V・drug」の担当者さんに協力していただきました。こういった契約は素人ですので、安心して任せられたことは本当に心強かったです（新家卓郎先生）。

AICHI 小牧市



精神科・心療内科・漢方内科

小牧原クリニック

ミニマム開業にはドラッグストアと組むのが有利だと考え、「V・drug」に電話で問い合わせ。開業希望地に新規出店計画があり、担当者さんを信用できたのと条件面も良かったので即決しました（櫻井啓貴先生）。

AICHI 小牧市



内科・消化器内科・内視鏡内科・小児科

はたのクリニック

「一人総合病院」のスタイルを目指し、こちらなら費用をかけて開業してもなんとかやれそうだと決意しました。広い駐車場は車が停めやすく、患者さんも安心。調剤薬局の薬局長も最高です（波多野和樹先生）。

GIFU 岐阜市



内科・循環器内科・外科・心臓血管外科

みずの内科・外科クリニック

私が開業に求めたのはリスクを極力抑えること。ここは岐阜県で創業した「V・drug」のいわばお膝元であり、地元でのノウハウが豊富な大手企業が誘致する場所として信頼できました（水野史人先生）。

GIFU 多治見市



心療内科・精神科

たじみすいみんクリニック

生まれ育った地元で、市内に本社がある企業と一緒に、地域に密着した医療に取り組めることをうれしく感じています。患者さんの快適性を高めた理想的な空間づくりは、新築テナントだからこそ（鷹見将規先生）。

MIE 鈴鹿市



眼科

さくらの森眼科

「V・drug」の新規店舗と合わせて隣接地に開業し、自由度の高い設計でイメージを形に。ドラッグストアが先にオープンした時にクリニック求人応募数が一気に伸びて、いい人材にも巡り会えました（一尾享史先生）。



「V・drug」開業支援の特設Webページでは、さらに詳しい情報を更新中。

V 開業



中部薬品株式会社
〒507-0078 岐阜県多治見市高根町4-29
Tel. 0572-27-3911 Fax. 0572-27-3912
www.vdrug.co.jp

お問い合わせフォームからのご連絡は
24時間受け付け、順次お返事いたします。
各関係業者への連携や多岐にわたる資源を生かして
全力でサポートしますので、どんな些細なことでも、
まずは中部薬品 医療開発部宛にお気軽にご相談ください。



お問い合わせフォーム